

2015年度 浦安市協働提案事業 「浦安景観まちづくり実践講座」(第3回) 「水辺(軸)の景観資源探し」が開催されました

9月13日(日)浦安市都市計画課・うらやす景観まちづくりフォーラムの協働事業として、2015年度 浦安市協働提案事業「浦安景観まちづくり実践講座」(第3回)「水辺(軸)の景観資源探し」が開催されました。

午前10時に若潮交通公園に集合し、境川中央歩道橋から河口の高洲海浜公園まで、境川の中下流を右岸・左岸をジグザグに見て歩きました。昨年に引き続き、今回も浦安水辺の会の皆さんにもお手伝い頂きました。

午後1時からは高洲公民館において行政の担当者の講演、境川沿いで市民団体のボランティア活動の報告の後、まち歩きで撮影した写真を見ながら、良い景観・改善したい景観についてワークショップが行われました。参加者は一般参加者に加え、千葉県及び浦安市の担当職員も含め、総勢33名でした。

■千葉県における水辺景観について(千葉県県土整備部河川環境課 企画班 中村副主査)

以下のような講演がありました。



千葉県県土整備部 中村副主査

- 河川行政は治水、利水、環境そして最近では多自然川づくりへと変遷してきている。
- 境川は中流域のレンガ張り護岸による景観整備は実施済み、上流域では現在施工中。環境に配慮しているが、基本は治水事業である。
- 国内外の先進事例では水辺の利活用が進んでおり、ムーブメントは一人のリーダーにフォロワーがつくことで広がっていく。「コンセプトは手堅く、アプローチは楽しく」という気持ちで、新しいフォロワーを獲得することが大切。

質疑の中で、以下のような回答がありました。

- 境川の中下流域の景観整備、堀江・猫実・見明川の老朽化対策に合わせた景観整備

については、住民の方から望ましいイメージを提案してもらえればありがたい。

- これからは河川だけでなく、道路、公園のコラボレーションが必要ではないか。

■公園の里親制度について(浦安市みどり公園課の高橋副主査)

以下のような講演がありました。



みどり公園課 高橋副主査

- 市では週1, 2回の掃除・ゴミの搬出、週2, 3回のトイレ清掃、年4回の除草作業、年3回の花壇の手入れ、年1回の低木整備等で、公園の美化に努めている。
- しかし、細かいところまで目が届かないため、里親制度がある。5人以上の市民、地域の人に継続的に公園の清掃、雑草取り等をしていただき、市が支援する。支援の仕方は、金銭ではなく、肥料、じょうろ、ホース、草刈り鎌などの物の支給及びボランティア保険の加入である。
- 10年以上の活動団体もあるが、新しいメンバーの参加が少なく高齢化が課題。ミニコンサートや親子・自然観察会などをやりながら継続しているところもある。毎日無理なく継続的に活動して欲しい。

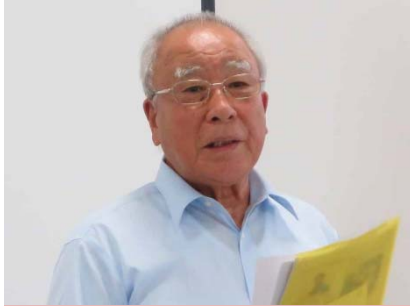
参加者より、5人以上にこだわらないで金銭補助や用具の貸し出しもしてほしい、街路樹の枝が自転車走行の支障になっているとの意見があり、要望として受け止めておくとのやり取りがありました。

■市民活動報告：高洲なかよし会・岡本会長

以下のような報告がありました。

- 助役を退職後、高洲の自治会長になった。浦安市は「緑あふれる海浜都市」を目指してきたが、当時の高洲は景観的に良くなかった。周辺自治会と境川沿いに入船橋

から河口まで「緑のプロムナードをつくらう」として話し合ったが、実現したのは高洲だけ。実践、実行が大事である。



高洲なかよし会 岡本会長

- 最初は自治会で始め、その後なかよし会をつくった。緑の里親制度にも応募したが実戦部隊に補助金が出ないのは問題。メンバーも最初は10人だったが今は3人。若手が集まらないのが悩み。少しずつ皆が手を動かし、輪を拡げていきたい。
- 水やりが問題。水栓は絶対必要である。

■市民活動報告：富岡中学校健全育成連絡会・友清会長

以下のような報告がありました。



高洲なかよし会 岡本会長

- 1999年当時、富岡中学校教頭先生の発案。100mに渡る花壇とプランター80個、年2回の花植え活動を16年続けている。2006年には農林水産大臣賞も受賞した。
- 年2回、健全育成活動に関わる地域の役員、学校、自治会、保護司のみなさん50人くらいで情報交換をやっている。
- 小学校、中学校、幼稚園の子供たちも300人前後参加し、年2回2時間くらいかけて花植えをする。事前の準備は30分程度。
- 通常の水やりは6人で2リットル入ペットボトルをリアカーに積んで行っている。中学校の生徒も部活の合間に手伝ってくれる。

- 設立時のメンバーが変わらずやっており、次の世代に続かない。

質疑の中で以下のような回答がありました。

- メンバーの問題は一本釣りしかない。
- プランターの耐用年数は5、6年。毎年行事にして繰り返してやっていくしかない。
- 児童生徒は自分の描いた絵に愛着を持つ。

■まちあるきの結果（ワークショップ）

午前中、水辺の会のみなさんの案内で境川沿いをまちあるきをした結果を、①いい景観、②改善したい景観に分け検討しました。



当日の様子（たくさんの写真から検討！）

- ① いい景観 ハゼ釣り、カヌーなど水辺を楽しんでいる風景／富岡中学校区健全育成連絡会・高洲なかよし会の彩り豊かな花壇／明海の丘公園と緑道のつながり／カワウ、ウミネコといった生き物がある風景／河川の視線が抜ける風景／街路樹とマンション内の植栽／高洲橋の重厚感のある欄干や街路灯／海浜公園の展望台から見下ろす風景／メタセコイアの並木
- ② 改善したいところ 無機質で汚い護岸／雑草の管理／川沿いに建つ建物の不揃い／廃船やごみ溜まり

■イベント案内*****

●【協働事業】「浦安景観まちづくり連続講座」
2015年度 第4回「浦安の原点・元町の景観の温故知新を学ぶ」

日時：11/15(日)9時30分～16時30分
中央公民館集合（午後のフォーラム・市役所第2庁舎）／参加費：無料／申込・問合せ：
asakawa@comdesign.jp（フォーラム・浅川）